

経営学部 リフレクションペーパー

2021年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 流通システム論Ⅱ（火曜2限・木曜6限の2クラス開講）
1. アンケート結果に対する総評 「この授業を受けて良かったと思いますか」という設問に対して、流通システム論Ⅱ〔火曜クラス〕が8.8、流通システム論Ⅱ〔木曜クラス〕が8.3であった。火曜クラスについては昨年度と全く同じ、木曜クラスについては昨年度より0.4ポイント低下した。ただし、流通システム論Ⅱ〔火曜クラス〕では14.8%、流通システム論Ⅱ〔木曜クラス〕にいたっては7.8%と回答率が極めて低かった。Webアンケートへの回答を促すための方策を学部単位（もしくは全学単位）で検討すべきであろう。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 前期の流通システム論Ⅰと同様に、流通システム論Ⅱでも当初よりオンデマンド（非同期）形式での実施を余儀なくされた。前期では受講者の集中力を維持するためにSEを多く活用したがあまり好評でなかったため、後期のスライドではSEはほとんど活用しなかった。イラストをスライドショーに挿入したり、映像資料を多く用いたりするなどの工夫をこらした点については前期と同様であった。
3. 今後の改善点 前期のリフレクションペーパーでは「学生が心理的なハードルを感じることなく気軽に質問できるような仕組みづくり」の必要性について記したが、後期の授業において前期の授業以上の対応をとることはできなかった。TAを導入して簡単な質問（操作に関するものも含む）に対応させることも真剣に検討すべきではないかと感じた。また、授業アンケートの結果からは離れるが、授業の改善点として成績評価としてのレポートのあり方が挙げられる。今期の流通システム論Ⅱでは、火曜クラス・木曜クラスとも、2名以上の学生からほぼ同じ内容のレポートが提出されるという不正行為が複数発生した。剽窃をしないよう授業の開始時に十分に注意喚起をしたつもりであったが、未然防止という観点ではなお不十分であったかもしれない。定期試験では、試験開始時に毎回監督者から不正行為者に対する処罰についての説明がなされるが、レポート提出に関しては不正行為者に対する明確な罰則規定がなく、また注意喚起の機会も少ないと考えられる。これについても、学部としての方針を学生に明示すべき時期にきているのではと感じた。
4. 学生へのメッセージ アンケートへ回答してくださった皆さま、ありがとうございました。